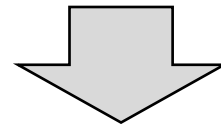


過去の計画・構想における理念

仙台市教育振興基本計画（第1期：H24～H28 第2期：H29～R2）

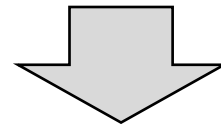
育みたい市民の力 ⇒ 時代の変化を受け止め、未来を切り開いていく力

目指す教育の姿 ⇒ 人がまちをつくり、まちが人を育む「学びのまち・仙台」



仙台市教育構想2021（R3～R7）

人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、
たくましく、しなやかに自立する人を育てます



本市の歴史的背景・土壌、都市個性

明治以降、多くの高等教育機関が集積
⇒ **学都・仙台の今日の発展へ**

戦後の社会教育、社会学級などの学びの場
⇒ **市民活動の萌芽を支える**

全国に先駆けたバリアフリーまちづくりなど、多様な主体の参画による市民協働の取組み
⇒ **共生の礎**が築かれてきた歴史

これまでの本市教育の理念

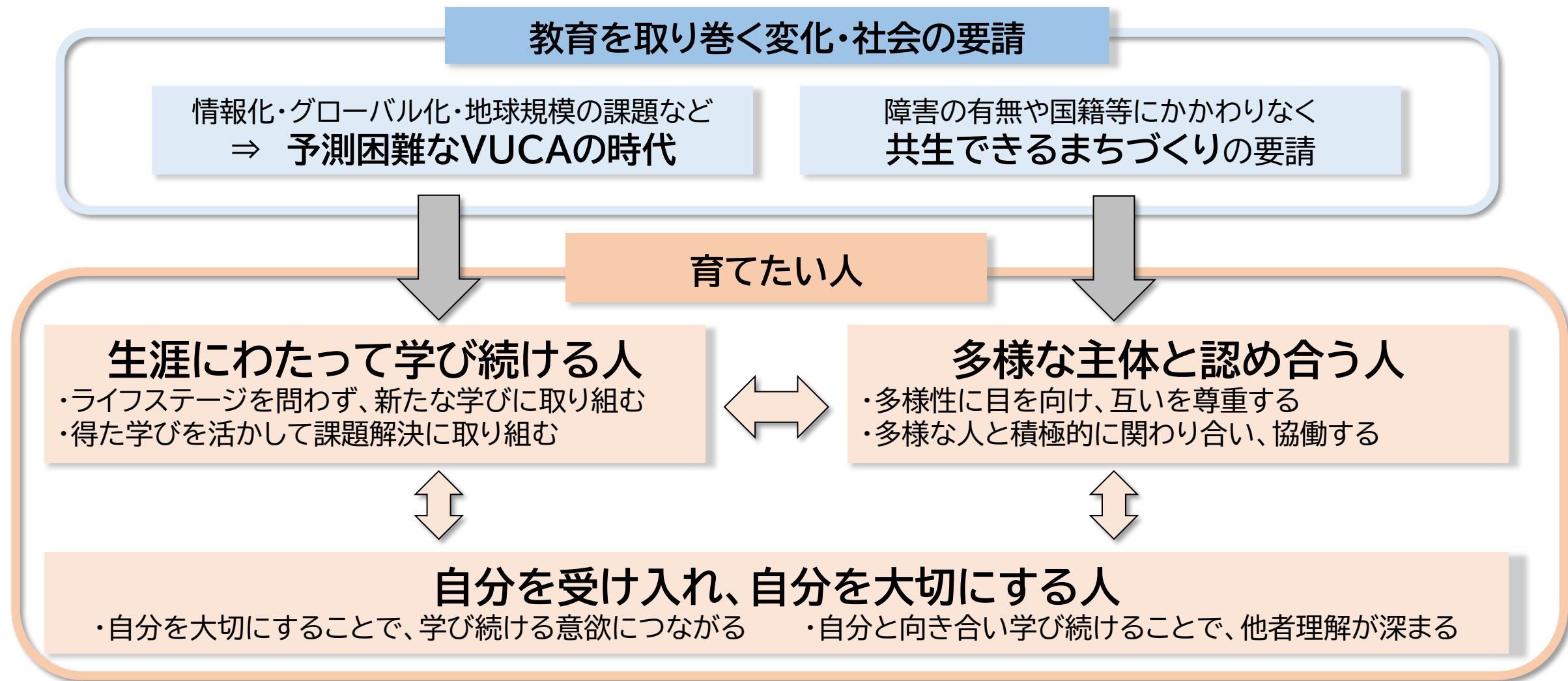
人づくりとまちづくりをつなげ、一体のものとして進める
⇒ **「人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環」**

「学びの循環」… 一人ひとりが学びを活かして交流する
⇒ まちが発展し人を育む土壌になる
⇒ 一人ひとりのさらなる学びや活動へつながる

今後においても踏襲し、
さらなる発展を目指すべき
重要な立脚点

(参考)第2回検討委員会における意見

- 学校、家庭、地域、企業がそれぞれの役割を果たして、学びの循環を作ることが重要。
- 学びの循環、ひとづくり・まちづくりは引き続き続けてほしい。人の循環にもつながる。
- 「学びの循環」の中で学びを活かして交流することで、新たな価値が生まれるのではないかな。



(参考)第2回検討委員会における意見

- 社会変化の激しさに対して、生涯にわたって学び続けることの重要性は増している。
- これからは「自分、他人、社会の幸福を求めていける力」が大切で、協働や自他への思いやりといった視点が重要。
- DEI(多様性、公平性、包摂性)という視点があり、そういったことを尊重していくことが求められる。

(仮称)仙台市教育構想2026 基本理念(案)

人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、
互いに認め合い、自分らしく学び続ける人を育てます

